

東ティモール国灌漑稲作セクター準備調査

国名	東ティモール民主共和国
発注者	国際協力機構(JICA) 東南アジア 大洋州部
事業分野	農村開発
実施期間	2011年10月から約5ヶ月間



©The World Factbook

事業の背景

東ティモール政府は国の『戦略開発計画(2011-2030)』の中で、農業を石油、観光と並ぶ戦略セクターに位置付け、2020年までに食糧自給を達成する目標を掲げています。しかし、頻発する洪水によって壊されたまま放置されている灌漑施設が依然として多数存在していた上、中央省庁や各県に配属された灌漑技師や普及員、農民に至るまで、灌漑稲作に関する知識や技術力の不足は深刻でした。

事業の内容

日本は対東ティモール事業展開計画において「農業・農村開発」を重点分野とし、灌漑施設の改修や、灌漑稲作体系の改善といった灌漑稲作セクターへの技術協力を通して東ティモールの米の生産性向上支援に取り組んできました。私たちが今回実施した調査は、より一層効果的な協力を実施するため、灌漑稲作の現況と課題を分析し、これまでの支援による成果を最大限活用した今後の協力の方向性を明らかにするためのものでした。具体的には、無償資金協力事業の妥当性の検討、灌漑開発、農民(水利組織)の能力向上等に関わる案件の策定でした。必要性の高い新規案件の形成を行うことを目的として、調査を行いました。



現地の県と灌漑局職員への聞き取り



現地の人と稲の収量調査を行った